



2014.08

No.542

一般社団法人  
群馬県労働者福祉協議会  
〒379-2166 前橋市野中町361の2  
〒379-2166 TEL027(263)3443  
URL <http://www.gunma-rofukukyo.or.jp>  
e-mail:post@gunma-rofukukyo.or.jp  
発行責任者 金子裕昭

## 第1回勤労者福祉セミナー“パワハラ防止研修” 「これってパワハラ？」を開催しました!!

県内各地より60名が参加。良いコミュニケーションの取り方を学びました。



開会挨拶する金子専務

8月23日(土)9時30分より、県勤労福祉センターにおいて2014年度第1回勤労者福祉セミナー＜パワハラ防止研修＞「これってパワハラ？」を開催しました。県内各地より、一般参加者の他、会員団体(生協・事業団体・労働団体)から60名が参加しました。

本セミナーは、職場におけるコミュニケーションの取り方が難しくなつてきてている中、パワハラ事例の検討とグループワーキングを通して、職場や地域における人との接し方を学ぶ場として開催しました。

講師は、ラポール企画代表取締役の大小原利信さんにお願いしました。

大小原さんは、職場生活におけるストレス等の原因の1位が「人間関係」であることや労働相談でも「いじめや嫌がらせ」が2年連続最多となっていること、うつ病等を起因とする自殺者が交通事故死の約7倍にも達する状況明らかにしました。また、職場におけるパワハラが社員のうつ病を引き起こし、その結果、職場の生産性の著しい低下や対策費用の増加等企業にとっても大きなダメージを被ることを訴えました。

そして、人間関係のトラブルや仕事への不安や不満等、どんな職場にもパワハラの芽が潜んでいること、上司や管理職にはパワハラと指導の違いを十分理解し、パワハラのない職場作りが求められていること、パワハラ防止のためには自分の言動をセルフチェックし、無関心を装わずお互いに注意しあうことの大切さを強調されました。

会場で初めて隣り合った参加者がセミナーの中で意見交換しあうなど、充実したセミナーとなりました。



講義中の大小原氏



これってパワハラなんだ…

# 群馬県労働者生活協同組合第59回通常総代会 および全労済群馬県本部第5回代表者会議開催!

全労済は、2014年7月30日（水）前橋市「前橋テルサ」8階けやきの間にて、第59回通常総代会および第5回県本部代表者会議を開催しました。当日は、多くの来賓が出席する中、渡辺聰理事による開会宣言・資格審査報告の後、議長団に選出された青木雄次総代（全県区総代：自治労群馬県本部）と関根健弘総代（桐生地区総代：ミツバ労働組合）を選出し議事進行が行われました。

書記任命・議事録署名人の選出の後、加藤理事長の挨拶に続き、来賓の方々を代表して、群馬県生活文化スポーツ部消費生活課課長の菅沼秀明様、群馬県労働者福祉協議会理事長兼連合群馬会長の北川秀一様よりご祝辞を頂きました。

総代会および県本部代表者会議の全議案については、参加者149名（本人出席114名・書面議決書35名）によって、提案どおり承認を得て、盛会のうちに終了いたしました。

今後も、組合員の皆さまの期待に応えられるよう、本総代会および代表者会議で確認された活動方針および事業計画の完遂を目指し、また火災共済事業開始60周年の取り組みの成功に向けて全役職員一丸で取り組みを行ってまいりますので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。



開会挨拶する加藤理事長



全議案とも満場一致で採択

報告

## 「2014年度労済運動に関する啓発運動の実践」に参加しました!!

7月17日（木）・18日（金）の二日間にわたり、全労済東日本事業本部主催の労済運動に関する研修旅行に参加しました。

初日は、阪神淡路大震災記念・人と防災未来センターでの体験学習と神戸賀川豊彦記念館での講演を受講しました。阪神淡路大震災の悲惨さと人々の助け合いの大切さを改めて痛感するとともに、水と食料は当然のこととして、ホイッスルを持っているか否かが生き埋めの際の生死を分けることになることをはじめて知りました。さっそくラグビー審判用のホイッスルを引き出しの奥の方から取り出した次第です。

賀川豊彦氏については、協同組合の父としての活躍については従前より承知しておりましたが、ノーベル平和賞やノーベル文学賞に何度も推薦され、ガンジー・シュバイツァーと並んで3大聖人と称されたこと等、国際的な評価の大きさをはじめて知りました。

二日目は、明石海峡大橋をわたり淡路島の北淡震災記念公園で語り部副館長の熱い語りに聞き入りました。

地元消防団の厚い絆で、地区の火災発生をゼロに抑えたこと、素早い救出活動で死者を出さなかったこと等の体験談は心に響きました。

災害にあったら、とにかく足のケガだけは避けなければならない。そのためにも靴下を履いて寝るか、シーツ等足に巻ける物を寝室に用意しておくが肝要のことと改めて肝に銘じました。

ご同行いただきました参加者の皆様、そして随行いただきました全労済群馬県本部の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

中央労働金庫高崎支店 支店長 山田 一



## (中央ろうきんのCSR活動)

## ●群馬県と「地域見守り支援事業協定」を締結！！

2014年7月2日、群馬県と中央労働金庫群馬本部で『地域見守り支援事業協定』(以下、事業とする)の締結が行われました。

この事業は、住民の生活に異変が生じていないか、民間事業者と行政等が連携して地域を見守る制度であり、2013年4月の制度発足以来、中央ろうきんは19番目の協定事業者となりました。

この事業の協定は、中央ろうきんのCSR基本方針に即した内容であり、自治体や各地域、関係団体等と連携を強め、事業活動を通じたCSRの実践を目指す取組みと考えています。



▲左：大橋群馬県本部長、右：群馬県健康福祉部長

## 中央ろうきんのCSR基本方針

## 大切にしたいこと -CSR Value-

## I 会員・組合員とともに

「中央ろうきん」は、共助の資金循環を通じて、「共生社会」の実現をめざす、「ろうきん」の原点を大切にします。

## II 地域社会とともに

「中央ろうきん」は、人と人、人と地域のつながり・共感を醸成する地域社会との対話を大切にし、はたらく人を取り巻く社会的課題の解決に取り組みます。

## III 金庫職員とともに

「中央ろうきん」は、職員一人ひとりのはたらきがいや自己実現を大切にし、活気溢れる組織づくり・組織運営に取り組みます。

I  
会員・組合員  
とともに



中央ろうきん  
大切にしたいこと  
-CSR Value-

II  
地域社会  
とともに

III  
金庫職員  
とともに

## 尾瀬環境(清掃)ボランティア 参加者募集

\*初秋の尾瀬の自然とふれあい!  
環境保護の大切さを学びましょう!!

日 時: 2014年10月4(土)~5(日)  
宿泊: 尾瀬高原ホテル  
利根郡片品村戸倉329 TEL0278-58-7511  
募 集: 約60名(参加者多数の場合は抽選とします)  
参加費: 大人一人7千円、子供(小学生以下)一人4千円  
1泊3食付、現地での交通費含みます。  
現地でお支払いください。

◆トレッキングができる服装、靴底が滑りにくいもの  
◆ごみ袋、ひばさみ、軍手、朝食・昼食、飲み物は用意します  
◆傷害保険に加入します  
◆参加者へは別途案内を差し上げます

<9/19(金)までにお申し込みください>

申込先: 労福協事務局  
TEL 027-263-3443 Fax 027-289-4004

エコキャップ運動ポスターを  
リニューアルしました

二酸化炭素を削減し、世界の子供たちにワクチンを届けましょう!!!

## 地球に愛を子どもに愛を

ペットボトルのキャップを集めて  
世界の子どもたちにワクチンを届けよう!



ペットボトルのキャップで世界の子どもにワクチンを届けます。  
ゴミとして焼却処分されると、  
キャップ430個で3,150gのCO<sub>2</sub>が発生します。

あなたの行動が世界の子どもと地球の未来を創ります!

- 小さなキャップでも、分ければ資源!  
リサイクルして価値ある材料に。
- ペットボトルのキャップをみんなで集めよう!  
キャップは430個で10円になります。
- ボリオワクチンは1人分20円!  
キャップ860個で一人の子どもの命が救えます。

※飲料メーカー各社の環境配慮活動によりキャップの重量が1回約2.5gから2.32gに軽量化されました。



呼びかけ: (一社)群馬県労働者福祉協議会

協力: 群馬県(一社)群馬県経営者協会 連合群馬 中央労働金庫群馬県本部  
全労済群馬県本部(一財)群馬ラベルセンター (株)群馬福祉対策協会

## ぐんま労福協の会員紹介です

# はるな生活協同組合

「住みなれた地域で、安心して暮らし続けたい」「いつまでも健康でありたい」「病気は一日も早く発見し、一日も早く健康を取り戻したい」  
こうした願いを実現するために市民が協同する組織としてとして、はるな生活協同組合は生れました。

## 事業活動の紹介

はるな生協は、医療・介護・福祉が一体となったサービスを提供し、安心して住む続けられる地域づくりの一端を担っています。

高崎市内に病院、医科診療所、歯科診療所を持ち、医療サービスを提供しています。通常の外来診療のほか、健診室を設置し、健康診断にも力をいれ、早期発見早期治療にこころがけています。超高齢社会に対応し在宅診療部を立ち上げ、自宅で住み続けながら療養を継続することにも、力を入れています。

入院中は差額室料をいただきません。また、無料低額診療事業を行い、経済的な理由で医療が受けられなくことが無いようにしています。

在宅福祉総合センターを中心に、居宅介護支援、通所介護、訪問介護、訪問看護、病児病後児保育の事業も行っています。

介護センターは、高齢者住宅を運営し一人暮らしに困難になった方の入居を受け入れています。

## 組合員活動の紹介

高崎市を中心に、安中、藤岡、富岡に合わせて30の支部があります。支部を中心に健康講座の開催や健康体操、安心して住み続けられる街づくりに取り組んでいます。

支部には、たくさんの班があり、ご近所どうしで気軽に集まり血圧測定などの健康チェック、学習や茶話会、お出かけや体操など、要求に基づく多彩な活動を行っています。

機関紙「縁十字」を月一回発行し、手配りを通じて、組合員どうしのつながりを深めています。

## はるな生活協同組合の運営する事業所

事業所名	住所	電話番号
高崎中央病院	高崎市高関町498-1	027-323-2665
通町診療所	高崎市通町143-2	027-322-6534
はるな生協歯科診療所	高崎市上中居町1461-1	027-388-0022
在宅福祉総合センター ほほえみ	高崎市高関町511-1	027-330-6030
介護センターほほえみの杜	高崎市上中居町1455	027-395-8871

## はるな生活協同組合

〒370-0851 群馬県高崎市上中居町 1461-1

☎027-388-0011 Fax027-388-0010

HP <http://www.harunacoop.jp>

E-Mail [tcoinfo@harunacoop.com](mailto:tcoinfo@harunacoop.com)

